



大谷 孝乃



舞巫女の練習では、はじめのころはみんなバラバラで心配になりましたが、だんだん息が合ってきたので、はにわ祭がととても楽しみでした。古代人をやってはにわ祭の意味を深く知ることができました。一生に一度の思い出です。

戸井明日実



私たちは、自然を壊し、環境を悪くしているのだと感じました。古代人は温かい心で緑あふれる大自然を守ってきたのだと思います。今の人々全員が温かい心を持ち、協力していければ、環境を壊さずに豊かに暮らせると思いました。

松本 望夢



私は一日舞巫女として過ごし、古代人たちがこんな舞をやっていたんだと思うと、私たちも古代人になった気持ちになりました。芝山の人たちは優しく温かい心を持っていると思いました。この一日で、いろいろなことを感じました。

佐々木光希



衣装を着て、化粧をして歩いてみると古代人になりきれたような気がしました。今の社会は確かに便利ですが、その便利さに溺れてはならないと思いました。町の活性化に協力できてとても楽しかったです。

堀越 翔太



衣装やメイクの仕方など、さまざまな事が現代とは違うなと思いました。朝早く集まり、さまざまな場所に行ったのでとても疲れた一日でした。でもこの体験をすることは一生のうちにもうないと思うので、とても良かったと思いました。



伊藤
朱音

国造が現代人へと送った言葉が印象的でした。「生まれてきてくれてありがとう」という言葉に胸を動かされました。私は、改めて生きることの大切さを学ぶことができました。この体験をこれからの生活に生かしていきたいです。



小川
晟矢

メイクや着替えをしてひたすら歩き、終わったときは本当に疲れました。しかし、昔にタイムスリップした気分でした。このような経験はこの先ないと思うので、はにわ祭の古代人になったということを一生涯の思い出にしたいです。



石井
大智

古代人に選ばれたときは、4時間も歩く聞いて、「きついだろうな」と思いましたが、本番は吹っ切れて、楽しんでできました。あめ配りのときは特に面白かったです。やっぱり疲れましたが、古代人を経験できて良かったです。



菅井
颯人

最初はとても緊張しましたが、やってみるとすごく楽しかったです。少し歩き疲れましたが、列を乱すと格好良く見えないので、一生懸命歩きました。疲れても手を振ってくれている人たちを見ると、疲れが少し楽になりました。



小菅
未有

巫女の舞は、練習を重ねていくうちに、みんなと息が合うようになり、本番で練習の成果が発揮できてとてもうれしかったです。普段着ない衣装や化粧をして、とても貴重な体験をすることができて、思い出の1ページとなりました。



小山内
令奈

舞巫女の本番では、櫛が練習のときよりも大きく、重かったですが、間違えずにできて良かったです。いもあめを配ったときや自由行動のときは、初対面の方や外国の方々と交流ができ、たくさん写真撮って楽しかったです。



西
優乙

僕は、はにわ祭でとても良い経験をしました。特に化粧をして、本格的な衣装を着ると、歴史を感じることができ、昔の人の思いなどに触れられた気がしました。このような貴重な体験は二度とないと思うので、とてもうれしかったです。



長谷部
紫苑

古代人の服装やメイクは、歴史の資料集に出ているものとは違ったので、とても驚きました。衣装はいろいろな装飾でとても重く、なぜ古代人が重いものを持って歩くのが不思議でした。機会があったら調べてみたいと思いました。



遠枝
良秀

昔の人々がいたからこそ、今の日本があるという思いが、現在では忘れ去られてしまっています。このはにわ祭を行うことで、現在の生活のありがたみがわかるようになると思います。これからもはにわ祭を続けてほしいです。